



## 山形トヨタ自動車(株)

本県における自動車ディーラーのパイオニア「山形トヨタ自動車(株)」が創立70周年を迎えた。鈴木吉徳社長は、記念式典で「変化の時こそニーズは多い。社会的な要請にしっかりと応えれば、まだまだ発展できる」と決意を述べた。同社の歴史は、そのまま戦争直後の混乱期から今日の繁栄、将来に向けて社会・経済の変遷を物語り、示唆する。「事業の使命を自覚し社会に貢献する」ことを経営理念のトップに置く老舗企業を紹介する。

同社のルーツは2百数十年前の江戸元禄年間に遡る。山形城下の職人町で「吉井屋」の商号で蠟燭(ろうそく)業を営んでいた。明治の後半に入り国分寺薬師堂の表参道口になっていた六日町に新店舗を構える。鈴木社長の祖父吉助氏は後に山形交通社長、第16代山形商工会議所会頭となるが、少年時代より進取の精神に

富み、家業を継ぐや蠟燭のほかポマード、化粧品、石鹸、揮発油、石油、ガソリン、機械油、種油、地下足袋(たび)、ズック靴、燻寸(マツチ)等々取扱商品を拡大した。

### 創業者吉助氏の先見の明

自動車販売を手掛けたのは昭和4年。大正時代の末期から山形でも少しずつ自動車が行きわたるようになり、昭和に入ると急速に発達しバスやタクシーが次々と走り出した。ガソリンの需要が増加、配達に同じ切れないことから吉井屋商店の店の前に、山形で最初のガソリンスタンドをつくった。これがきっかけとなって自動車販売部を創設し、アメリカ製フォードの販売に乗り出す。多額の資金を要することから危ぶむ声もあったが、吉助氏は自動車時代が来ることを力説し説得した。

アメリカとの摩擦が激しくなり始める昭和13年、外国車の取扱いが困

難な状況になったことから国産車販売を念頭に、トヨタ自動車の刈谷工場を見学。そこで、大勢の工員に交じって当時トヨタ自社工長の豊田喜一郎氏とトヨタ自販社長の神谷正太郎氏が、工員と同じ服を着て油まみれになりながら、国産車の研究・開発の陣頭に立っている姿を目の当たりにして、「国産車への切り替えはトヨタ車にする」と決断した。

太平洋戦争を経て昭和21年9月10日、吉井屋の商号を現社名に改め創立し、本格的に自動車販売に乗り出す。設立直後こそ「終戦後の混乱する経済事情により全員(従業員21人)極力業務に精動したにもかかわらず、所期の成績挙げざりしは誠に遺憾とす」と厳しい状況ではあったが、クワンに代表される本格的な国産乗用車の登場、モーターレーゼーション時代の到来が高度成長期と相まって、業績は飛躍的に発展、充実の一途をたどり今日に至っている。

## 創立70周年。

時代変化による「社会要請」への対応と車の魅力、楽しさの発信を両立させてお客様と地域とこれからもずっと

業界は今、大きな転換点を迎えている。総人口の減少、自動車保有台数の減少にどう対応するか。

### 「車」を通じ山形の魅力発信

鈴木社長は、「人口減少社会の中で会社として存続していくために絶対必要な事は、お客様からの支持であり、そのためには、お客様が必要なものをしっかり提供すること。『お客様と、地域と、これからもずっと』です」と基本を強調する。

その上で、サービス品質の維持向上とコスト低減の両立を目指すための「経営効率の改善、接客の質やアフターフォローを含めた「顧客満足度の充実」、エコカー普及活動を中心とする「企業の社会貢献」、店舗を拠点に山形の情報を提供する「地域活性化と地域の魅力発信」」を掲げ、次のように語る。

「長いカーライフの中で、お客様は何かしら困る事が起きるはずですが70周年の節目を迎えたことを一つの契機として、社員1人ひとり改めてお客様側の視点に立ち、どのような『お役立ちの』価値や情報』を提供していくかを考えていくことが大切です」。同時に、「車本来の魅力や個性、豊かで快適な暮らしを演出する車の楽しさを、もっともっと伝えていきたいですねえ」。そう言葉を継いだ。



明治44年の山形市北大火後再建した大正年頃の吉井屋商店(六日町角、店員が写生した)



創立70周年を機に、時代の変化に対応し地域に求められる企業を目指す、と語る鈴木吉徳社長



創立6年、昭和26年8月、トヨタトラック発表会に際して山形市幸町の本社で社員が集合して記念写真。敗戦から復興、高度成長期に差し掛かり車社会到来の足音が近づく



本社に隣接、個性ある車種をそろえ県外からの来店も多い人気のカスタマイズファクトリー

### 山形トヨタ自動車(株)

創立1946(昭和21)年。資本金8,000万円。本社・山形市南一番町。鈴木吉徳代表取締役社長。従業員260人。本社・店舗をはじめ県内全域に15拠点。取扱車種クラウン、プリウス、ランドクルーザー、シエンタ等多種。関連会社・日米商事(株)、トヨタL&F山形(株)、(株)ティーワイ開発、(株)トヨタレンタリース山形。(連絡先)023-623-1911